

---

# 第75期 年次報告書

(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

---



証券コード5697

# 株式会社サンユウ

## 株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループは2021年3月31日をもって第75期の事業年度を終了いたしましたので、ここにその事業の概況及び決算の結果についてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大が各種経済活動に多大な影響を及ぼしたことから厳しい状況が続きました。

わが国のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線業界（当業界）の主要需要家である自動車業界におきましては、上半期において生産活動が大きく低下いたしました。その結果、2020年暦年における当業界の生産量は1,434千トンと前年に比し343千トン減少いたしました（前年比19.3%減）。

当社グループの販売数量も大きな落ち込みを余儀なくされ、販売数量は102千トン（前期比18.9%減）となり、売上高は17,142百万円（同16.1%減）と減収となりました。

損益につきましては、外注加工の内製化及び諸経費の削減等に取り組みましたが、売上高の減少に伴う収益の悪化は避けられず営業利益は147百万円（同57.3%減）、経常利益は営業外収益における雇用調整助成金等の計上があり353百万円（同6.2%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は債務保証損失引当金繰入額等の計上により112百万円（同28.8%減）と減益となりました。

なお、事業部門ごとの業績は次のとおりであります。

まず、みがき棒鋼部門におきましては、販売数量は62千トンとなり、売上高は11,325百万円（同16.3%減）となりました。

次に、冷間圧造用鋼線部門におきましては、販売数量は40千トンとなり、売上高は5,816百万円（同15.8%減）となりました。

当連結会計年度に実施した当社グループの設備投資の総額は

299百万円で、その主なものは、東大阪磨棒鋼センター隣接地の取得（98百万円）であります。これらの資金は自己資金及び借入金にて賄いました。

わが国経済の今後の見通しにつきましては、官民一体となって新型コロナウイルスの感染拡大の防止策を講じつつ、活動レベルを引き上げていくことが予想されますが、企業収益及び雇用環境等の本格的な改善には一定の時間がかかるものと思われま

す。当業界につきましても、主要需要業界である自動車・建設機械分野において、今後の見通しが不透明であることから、引き続き予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような経営環境下、当社グループにおきましては、保有する生産設備の効率の且つ最適な稼働を図るなどグループ間・事業所間の連携を一層強化することにより、グループ内経営資源を有効に活用し、連結収益の最大化を追求する所存であります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ以上の諸事情をご賢察のうえ、今後ともご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年6月

代表取締役社長 西野 淳二

## 事業の内容

### ●生産

大阪府内の2工場及び熊本県の九州工場を軸に、品質・数量ともに安定した効率的生産体制を構築しています。

需要家の求めるあらゆる用途や仕様に適合する優れた品質の製品を安定的・効率的に生産し、迅速・確実にお届けするために、大阪府内の枚方市と八尾市及び熊本県菊池市に消費地密着型のみがき棒鋼（普通鋼・構造用鋼、合金鋼、快削鋼、ステンレス鋼）と冷間圧造用鋼線（普通鋼・構造用鋼、合金鋼）の工場を展開しています。枚方市にある本社工場では、みがき棒鋼の多品種生産を行うとともに精密加工により、高付加価値製品を産み出しています。八尾工場及び九州工場では、みがき棒鋼を生産するとともに自動酸洗設備及び熱処理炉を最大限に活用した冷間圧造用鋼線の生産により、自動車関連需要に対応しています。高炉・電炉メーカーの厳しい品質管理のもとで生産された優れた素材を使用することにより、良質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を生産し多くの産業界に提供しています。

### ●品質管理

鉄鋼メーカーと共同でよりよい品質の製品を開発しており、厳しい品質管理体制は需要家にも定評があります。

技術革新の著しい進展のなかで、製品に対する品質要求はますます高まっています。当社グループでは、高品質の製品を生産するために、その生命線ともいべき引抜ダイスの寸法精度を厳密に管理するとともに製品の寸法精度や形状精度を向上させ、表面きず等を低減させるために、徹底した工程内検査や厳格な出荷前検査を実施しています。特に表面きずについては渦流探傷機等を活用し、万全の注意を払って検査しております。

また、鉄鋼メーカーとは新製品・新技術の開発計画、品質等について定期的に検討会を開催し、共同での改善・開発や共同品質管理体制を確立しています。

(株)サンユウにおきましては、ISO9001及びISO14001の国際規格を認証取得しており、今後とも品質の充実を図ってまいります。

### ●物流

業界随一の自動立体倉庫を軸に多品種の標準製品を常備在庫し、多様なニーズに即応できる全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

「必要なとき必要な製品を必要なだけ供給する」といった販売基本方針のもと、製品を供給するために、全国をカバーする物流・情報ネットワークを構築しています。その核となるのが、大阪府内2カ所に設けた立体倉庫で、常時9,000トンもの多彩な標準製品をストックしています。特に東大阪市に設置した業界初の自動立体倉庫では入出庫管理はすべてコンピューター化されているので、需要家が求める製品がどこにあるかを瞬時に検索することができるようになっています。その結果、効率的な搬出入作業が可能となり、近畿圏の即納体制を確立しています。また、北海道から九州まで、全国各地を網羅した地域特約店との関係を強化することにより、(株)サンユウの各営業店舗並びに子会社の大阪ミガキ(株)及び大同磨鋼材工業(株)の各拠点と合わせて全国的な物流・情報ネットワークを構築しています。

### ●技術

優れた良質の素材と最新の技術力、設備力で、高精度・高品質のみがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線を効率的に生産しています。

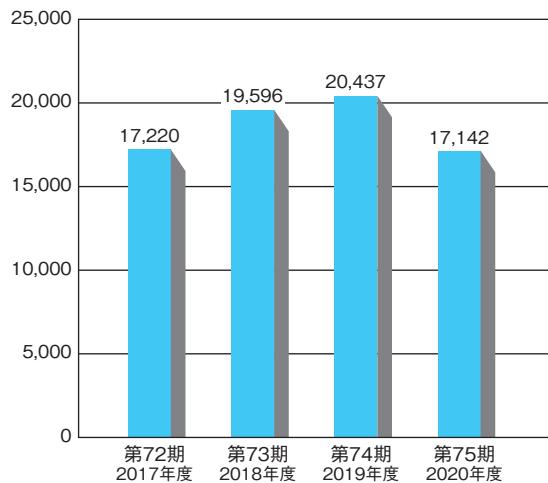
みがき棒鋼及び冷間圧造用鋼線は、鉄鋼メーカーの優れた品質の熱間圧延材を使用し、冷間引抜加工等により生産しています。冷間引抜加工とは、厳密な寸法・形状の穴型をもつ引抜ダイスと呼ばれる超硬合金製の工具で、少し大きい寸法の素材を穴型を通して引き抜くことにより、穴型の寸法・形状に成型する加工方法のことをいいます。

このうち、みがき棒鋼は（引き抜き一矯正）工程または（表面切削（ピーリング）一矯正）工程により精密な寸法・形状に仕上げられた棒状の製品をいい、引抜機は細物用に使用する連続抽伸機と太物用に1本ずつ引き抜く棒鋼引抜機（ドロベンチ）の2種類を使用しています。当社グループでは、最新の連続抽伸機、棒鋼引抜機、ピーリング及び矯正機を導入し、精密で高品質の製品を効率よく生産し、さまざまな需要家ニーズに応じています。

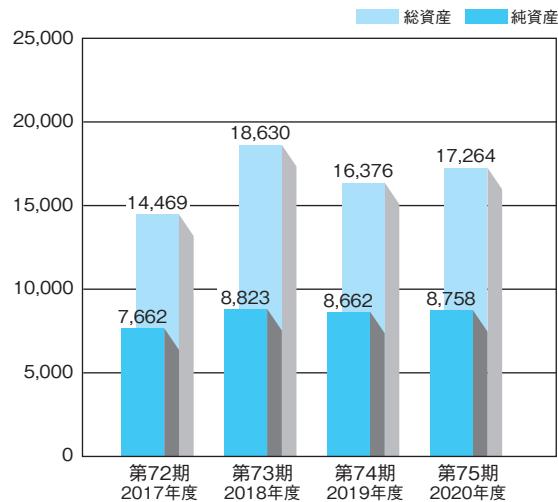
一方、冷間圧造用鋼線は、自動酸洗設備で表面の酸化皮膜を除去した後、伸線機で引き抜くことにより精密な寸法・形状に仕上げられたコイル状の製品をいい、熱処理設備で熱処理を行うことにより、高品質の製品を生産し好評を得ています。

## 連結業績の推移

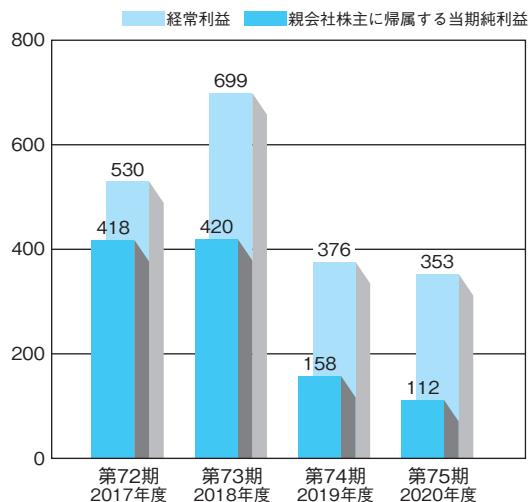
売上高 (単位:百万円)



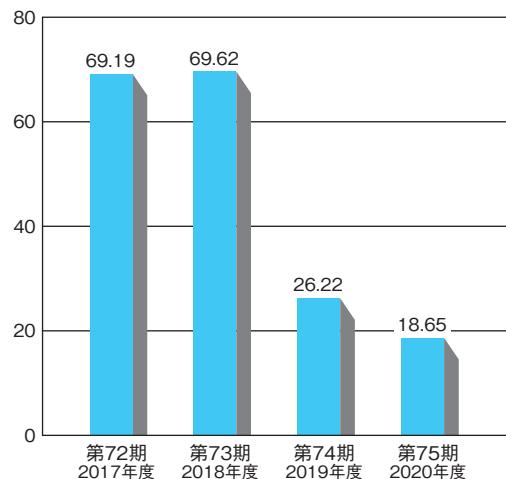
総資産・純資産 (単位:百万円)



経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



1株当たり当期純利益 (単位:円)



## 連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額
[ 資 産 の 部 ]	
流 動 資 産	11,877,582
現金及び預金	3,571,438
受取手形及び売掛金	5,190,785
棚卸資産	3,102,551
その他	12,806
固 定 資 産	5,386,857
有 形 固 定 資 産	5,027,778
建物及び構築物	1,345,759
機械装置及び運搬具	1,660,524
土地	1,873,170
その他	148,323
無 形 固 定 資 産	116,397
投資その他の資産	242,681
資 産 合 計	17,264,439
[ 負 債 の 部 ]	
流 動 負 債	7,331,434
支払手形及び買掛金	4,542,583
短期借入金	1,850,000
1年内返済予定の長期借入金	216,588
その他	722,263
固 定 負 債	1,174,515
長期借入金	868,592
退職給付に係る負債	92,256
その他	213,666
負 債 合 計	8,505,949
[ 純 資 産 の 部 ]	
株 主 資 本	8,142,471
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,303,508
利 益 剰 余 金	5,346,668
自 己 株 式	△ 21,392
その他の包括利益累計額	5,348
その他有価証券評価差額金	5,348
非 支 配 株 主 持 分	610,669
純 資 産 合 計	8,758,489
負 債 ・ 純 資 産 合 計	17,264,439

(注) 1. 連結子会社は、大阪ミガキ株式会社及び大同磨鋼材工業株式会社の2社であります。

2. 有形固定資産の減価償却累計額

12,811,743千円

連結損益計算書 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	17,142,502
売 上 原 価	14,888,285
売 上 総 利 益	2,254,217
販売費及び一般管理費	2,106,754
営 業 利 益	147,462
営 業 外 収 益	236,817
営 業 外 費 用	30,975
経 常 利 益	353,305
特 別 利 益	93
特 別 損 失	73,789
税金等調整前当期純利益	279,609
法人税、住民税及び事業税	120,935
法人税等調整額	4,783
当 期 純 利 益	153,890
非支配株主に帰属する当期純利益	41,135
親会社株主に帰属する当期純利益	112,754

(注) 1株当たり当期純利益

18円65銭

連結キャッシュ・フロー計算書 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:千円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,022,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 249,635
財務活動によるキャッシュ・フロー	231,626
現金及び現金同等物の増加額	2,004,236
現金及び現金同等物の期首残高	1,567,202
現金及び現金同等物の期末残高	3,571,438

連結株主資本等変動計算書 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,513,687	1,303,508	5,282,269	△ 21,392
当期変動額				
剰余金の配当			△ 48,356	
親会社株主に帰属する当期純利益			112,754	
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	64,398	—
当期末残高	1,513,687	1,303,508	5,346,668	△ 21,392

	株主資本	その他の包括利益累計額	非支配株主持分	純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		
当期首残高	8,078,072	2,312	582,464	8,662,850
当期変動額				
剰余金の配当	△ 48,356			△ 48,356
親会社株主に帰属する当期純利益	112,754			112,754
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		3,035	28,205	31,240
当期変動額合計	64,398	3,035	28,205	95,639
当期末残高	8,142,471	5,348	610,669	8,758,489

## 個別財務諸表の要旨

貸借対照表 (2021年3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額
[ 資 産 の 部 ]	
流 動 資 産	8,811,727
現金及び預金	2,095,529
受取手形及び売掛金	4,263,292
棚卸資産	2,434,305
その他	18,599
固 定 資 産	5,993,688
有 形 固 定 資 産	3,943,193
建物及び構築物	1,248,405
機械装置及び運搬具	1,262,697
土地	1,337,540
その他	94,550
無形固定資産	53,533
投資その他の資産	1,996,961
資 産 合 計	14,805,415
[ 負 債 の 部 ]	
流 動 負 債	6,008,007
支払手形及び買掛金	4,164,401
短期借入金	1,220,000
1年内返済予定の長期借入金	110,700
その他	512,905
固 定 負 債	741,195
長期借入金	564,900
退職給付引当金	47,164
その他	129,130
負 債 合 計	6,749,202
[ 純 資 産 の 部 ]	
株 主 資 本	8,051,750
資 本 金	1,513,687
資 本 剰 余 金	1,317,207
利 益 剰 余 金	5,242,248
自 己 株 式	△ 21,392
評価・換算差額等	4,462
その他有価証券評価差額金	4,462
純 資 産 合 計	8,056,212
負 債 ・ 純 資 産 合 計	14,805,415

(注) 有形固定資産の減価償却累計額

10,426,884千円

損益計算書 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) (単位:千円)

科 目	金 額
売 上 高	13,864,300
売 上 原 価	12,547,409
売 上 総 利 益	1,316,890
販売費及び一般管理費	1,291,685
営 業 利 益	25,204
営 業 外 収 益	201,926
営 業 外 費 用	23,960
経 常 利 益	203,171
特 別 損 失	73,789
税 引 前 当 期 純 利 益	129,381
法人税、住民税及び事業税	42,838
法人税等調整額	12,770
当 期 純 利 益	73,772

(注) 1株当たり当期純利益

12円20銭

## 会社の概要

2021年3月31日現在

社 名 株式会社サンユウ  
 所 在 地 本社／大阪府枚方市春日北町3丁目1番1号  
 電話：072-858-1251 FAX：072-858-2672  
 設 立 1957年1月  
 資 本 金 1,513百万円  
 従 業 員 数 198名（単体）、303名（連結）  
 事 業 内 容 みがき棒鋼の製造、加工及び販売  
 冷間圧造用鋼線の製造、加工及び販売

## 重要な子会社の状況

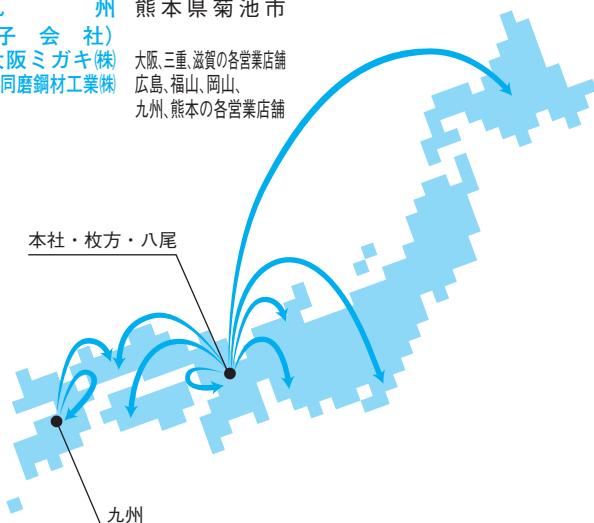
2021年3月31日現在

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主要な事業内容
大阪ミガキ株式会社	40百万円	67.5%	みがき棒鋼の製造及び販売
大同磨鋼材工業株式会社	20百万円	100.0%	鋼材の販売

## 主な事業所及びネットワーク

2021年3月31日現在

本 社 大阪府枚方市  
 (営業店舗)  
 枚 方 大阪府枚方市  
 八 尾 大阪府八尾市  
 九 州 熊本県菊池市  
 (工 場)  
 本 社 大阪府枚方市  
 八 尾 大阪府八尾市  
 九 州 熊本県菊池市  
 (子 会 社)  
 大阪ミガキ(株) 大阪、三重、滋賀の各営業店舗  
 大同磨鋼材工業株 広島、福山、岡山、  
 九州、熊本の各営業店舗



## 役 員

2021年6月29日現在

代表取締役社長	西 野 淳 二
取 締 役	加 藤 和 彦
取 締 役	清 水 良 寛
常 勤 監 査 役	生 方 徹
監 査 役	藤 田 典 明
監 査 役	仲 山 隆 之
上 席 執 行 役 員	水 野 由 実
上 席 執 行 役 員	松 井 亮 一
上 席 執 行 役 員	八 木 信 郎
執 行 役 員	大 槻 晃 弘
執 行 役 員	笹 山 英 俊
執 行 役 員	向 井 徹
執 行 役 員	大 木 光 一
執 行 役 員	安 積 光 治

(注) 1. 取締役清水良寛氏は社外取締役であります。  
 2. 監査役生方徹、藤田典明及び仲山隆之の3氏は社外監査役であります。

## 株式の状況

2021年3月31日現在

発行可能株式総数 19,344,000株  
発行済株式の総数 6,091,000株

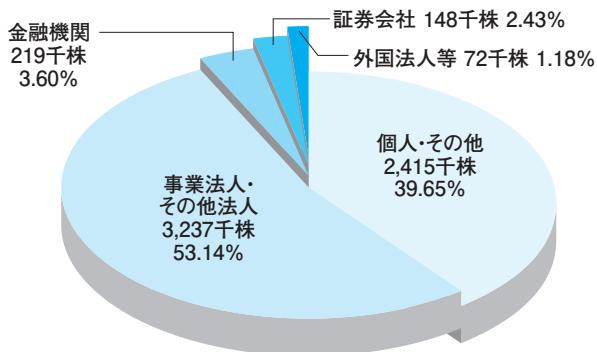
株主数 1,225名

### 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本製鉄株式会社	2,035 千株	33.67 %
村岡克彦	342	5.66
株式会社メタルワン	315	5.21
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	295	4.88
日鉄物産株式会社	250	4.14
永田麻里	187	3.10
佐藤商事株式会社	180	2.98
サンユウ従業員持株会	174	2.89
柏木伸夫	135	2.25
株式会社りそな銀行	110	1.82

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(46,496株)を控除して計算しております。

### 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当金 毎年3月31日

中間配当金 毎年9月30日

その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めます。

公告方法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.sanyu-cfs.co.jp>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

各種お問合せ先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
郵便物送付先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)

※受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、年末年始を除く)

### IRメール配信のお知らせ

当社では、株主・投資家の皆様向けにIRメールを配信しています。

配信をご希望の方は、下記アドレスから簡単にご登録(無料)いただけます。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=5697>

IRメール配信サービスは、三菱UFJ信託銀行株式会社が運営しています。

